

キタサンショウウオ：生き残りの達人

キタサンショウウオ (学名: *Salamandrella keyserlingii*) は、零下 40 度もの低温に適応できるという点で注目に値します。このサンショウウオは、冬には凍った状態で冬眠して生き抜き、春に起きてきます。この両生類は、西はウラル山脈から極東のカムチャッカ半島までのロシア北部に見られます。しかし、日本では、キタサンショウウオは釧路湿原一帯でのみ見られます。このサンショウウオは、最終氷期の際にユーラシア大陸から樺太島を渡って北海道に渡ってきた可能性が高いとされています。